

あけましておめでとうございます

नयां वर्षको उपलक्ष्यमा मंगलमय शुभकामना

2025年、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

特定非営利活動法人 ミランクラブジャパン
理事長 マナンドール マダーブ ナラエン

2024年10月2日～11月15日まで約1か月半ネパールに行ってきた。今回の訪問中はミランクラブジャパンの宮崎理事と五島理事も訪れ、訪問中は元里子たちと交流を深めました。参加した里子たちは13名とMCN理事5名でした。

彼女たちから現在の進捗報告がありました。

1. ラミタ・マハルジャン
(子1名) 学校の会計士
2. ラクチュミ・スレスタ
フェンシ店経営者
3. アルチャナ・マナンドール
(子1名) 酒屋経営者
4. ディナ・マリ 歯科医師
5. アリタ・スレスタ 銀行員
6. サヌカ・ラマ 主婦
7. ヒシラ・バズラチャルエ 看護師
8. スジナ・バズラチャルエ
(子1名) ミュージシャン
9. ソバラクチュミ・ダンゴール
会社員
10. ラクチュミ・ゴパリ 美容師
11. ビッデア・ゴパリ 美容師
12. スリスティ・ラジバンダリ
銀行員

今まで支援を受けた里子たちの中に教

員、美容師、会社員、エンジニアなどの職業に就き自立した者が多いです。ミランクラブの支援を受け社会貢献を果たしていると言えます。これは年々増えている傾向にあります。また、結婚した里子たちも教育の大切さが身をもって経験しているため、自分の子供に教育の大切さを伝え学校へ行かせています。

彼女たちは自己紹介の時、小さいときに経済的に恵まれずミランクラブからの支援がなかったら、今の自分が今の立場に居なかっただろうと誇りをもって言っていました。

ミランクラブの経済支援を受けて、立派に独立している里子は他にも沢山います。今年度も奨学金を受けて学校へ行っている里子がいます。特にフムラ郡、ラメチャップ郡、ドルカ郡、ラムジュン郡、シンドウパルチョック郡に多いです。これらの地方の教育が遅れており、未だに学校へ行きたくても行けない女子がいます。ミランクラブはこうした地方の女子を今後も支援していきたくと思っています。

ミランクラブの奨学制度を始めた当初は、ネパールの女性の識字率はまだ一桁だったと記憶しています。私たちは女子の識字率も100%に近づくよう努力してき

ました。しかし現在の識字率は 71.2%(男性 81%、女性 63.3%)です。

私たちが活動を始めた主な理由は、以下のような問題があるからです。

- ◆ 未だ地方社会に男尊女卑の風潮が根強く残っており女性は教育の機会に恵まれていないこと。
- ◆ カースト制度による差別や偏見が未だに残っていること。
- ◆ 女性の地位が低いため現金収入の仕事がなく女子の子供への教育は後回しにされること。
- ◆ 自分の意思が尊重されず、10代での結婚、出産により教育や社会進出から遠ざかってしまうこと。
- ◆ 教育を受けられなかった女性が母親になり、子供に教育の大切さを伝えられないこと。
- ◆ 弱い立場の女性への家庭内暴力、虐待や人身売買の存在があること。

私たちミランクラブジャパンのボランティア活動は 1990 年に始まり、団体創立は今年で 37 年目になります。今までの活動の詳細は以下の通りです。

私たちミランクラブの趣旨である『すべての女性に教育を！』をスローガンに、社会から取り残されている恵まれない孤児や母子家庭の女子への教育支援を行っています。

私たちの活動で、ネパールの教育識字率上昇に貢献してきたと思っています。この趣旨の達成のために一貫してミランクラブジャパンとミランクラブネパール

が協力し合い、奉仕でボランティア活動を行ってきています。

ミランクラブの発足は皆様をご承知の通り、差別されている女子の教育支援、自立支援、男女共同参画社会を目指しています。私たちの支援を必要とする女子に高校 SEE 試験 (10 年間)まで途切れることなく奨学金の形で支援することです。安心して勉強を続けられるようにとの思いは今まで継続されています。

1. ミラン里子制度

ミラン里子制度は 1990 年に始まりました。日本で支援をしている支援者のこと里親と呼び、支援をしているのは 2024 年末で正会員 52 名、賛助会員は 2 名です。一般正会員の年会費 15,000 円の内、12,000 円は利息の高いネパールの金融機関に奨学金基金として預け、その利息から教育支援を行ってきました。しかし数年前から年々利息が下がり、ここ数年は元本を取り崩しながら支援を継続していましたが 2024 年以降、元本がなくなります。残りの 3,000 円は国内活動費として使わせていただいています。

下記の表は 1990 年以降ミランクラブが里子として教育支援をしてきたデータです。これを見ると、多くの里子を支援してきたことを分かります。

ミランクラブジャパンの奨学金支援は他の支援団体による短期間の支援と違い里子が自立可能な高校卒業 (10 年間)までとしています。

年度別支援里子人数

1名 1990年	1名 1991年	11名 1992/93年	19名 1994年
29名 1995年	23名 1996年	29名 1997年	27名 1998年
53名 1999年	29名 2000年	26名 2001年	31名 2002年
32名 2003年	118名 2004年	26名 2005年	53名 2006年
39名 2007年	38名 2008年	31名 2009年	35名 2010年
33名 2011年	46名 2012年	45名 2013年	79名 2014年
46名 2015年	44名 2016年	36名 2017年	51名 2018年
15名 2019年	19名 2020年	20名 2021年	24名 2022年
24名 2023年			

1990年に1人の里子から始まったこの里子制度は、10年生卒業後の特別里親の支援も含めると、今年度で里子が延べ人数でみると 6,125名 になります。

ミランクラブは毎年支援金で賄える範囲で新しい里子を受け入れていましたが、会員数の減少、寄付金の減少や奨学金基の残高の目減りにより、支援の希望者がいるにも関わらず2019以降は新しい里子を支援することができませんでした。奨学金制度が滞っているは以下の通りです。

- ・会員数の減少
- ・円安による送金額の目減り
- ・支援金を預けている金融機関の利下げ

私たちは2023年度から月間支援額は1,500ルピーにしています。この金額は経済的に困り、里子が学業を中断しないためのギリギリの支援です。子供が学校へ行けるようになったと母親たちはミランクラブに心から感謝しています。しかし

残念ながら、経済的に弱い立場にいる一部の里子たちは、学業を辞めるケースもあります。

地域別の里子たちの人数

地域別 district	人数 number
アチャム郡	5名
バラ郡	1名
ドルカ郡	1名
グルカ郡	1名
フムラ郡	43名
カトマンズ郡	5名
ヌワコット郡	2名
ラメチャップ郡	1名
ロルパ郡	8名
シンドウパルチョコク郡	4名
合計 total	71名

この表を見ると分かりますように、多くの里子はネパールの西北地方のフムラ郡、ロルパ郡と東北のシンドウパルチョコク郡からとなっています。

2024年度の里子人数

学年		人数
小学校	4年生	1名
中学校	1年生	4名
	2年生	11名
高等学校	3年生	18名
	1年生	17名
10+2	2年生	20名
	2年生	0名
合計		71名

2. ミラン職業訓練所

ミランクラブネパールの支部がある地方では定期的にコンピュータークラスを開いていましたが、コロナ禍の影響で全て休止になり、今も再開の目途がたっていません。ラメチャップ郡、ドルカ郡のコーディネーターからは、特に人気のコンピュータークラスの再開を望まれています。今年度も実施することは難しいです。その理由は、職業訓練のため、支援金は積み立てられていますが、最近ネパールの物価高で職業訓練の授業を行う費用が依然と違い高く、資金的な問題で検討中になっています。

3. ミランダルマスタリ学校

ミランダルマスタリ学校はネパールの協力団体であるミランクラブネパールが運営をしています。今年で開校 23 年目を迎えました。多くの生徒が高等学校 (SEE) を卒業し、10+2 に進み、その後大学へ進学しています。大学を卒業し自立できるようになり社会貢献を果たしています。又留学する生徒も少数ですがいます。ミランダルマスタリ学校には、2 名の元里子が先生をやっています。

ミランダルマスタリ学校は教育省から学校運営認可を受けています。現在、学校には保育園、幼稚園、小学校 1 年生～高校 10 年生まであります。全校生徒は 618 名 (女子 272 名、男子 346 名)、教職員は 31 名 (女性教員 14 名、男性教員 11 名、女性職員 4 名、男性職員 2 名、) です。

ミランダルマスタリ学校はカトマンズ首都から約 7 km 北東のダルマスタリ村に

あります。首都から近くにありながら開発の遅れている地域です。ミランダルマスタリ学校は地域では学校のモデル校となっています。現在は ONLINE クラスも出来る環境になっており、海外からも ONLINE クラスを行っています。

ダルマスタリ学校の学費は公立学校から比べると約 20% も安い設定になっています。学校ではクラブ活動として音楽、ダンス、英会話、空手等の部活があります。数年前からスポーツクラブもでき、フットサル、バレーボールとバスケットボールも追加され、地域での試合に勝って表彰されるのも度々です。特に男性はフットサル、女性はバスケットボールが強く、その他に音楽やダンスも人気が高いようです。

MDS 学校の生徒数と学費一覧表

学年		女子	男子	学費 Rs/月
保育園	1 年	19 名	28 名	1700
	2 年	30 名	35 名	1900
小学校	1 年	29 名	35 名	2000
	2 年	18 名	38 名	2000
	3 年	14 名	28 名	2000
	4 年	21 名	22 名	2200
	5 年	15 名	30 名	2300
中学校	1 年	17 名	23 名	2500
	2 年	25 名	22 名	2600
	3 年	14 名	23 名	3000
高校	1 年	18 名	19 名	3500
	2 年	21 名	18 名	4000
合計		618 名		

学校は奨学金制度も設けており、現在 87 名が支援を受けています。奨学金の種類は 50%と 100%の免除があります。2024 年度では女子 (41 名)、男子 (44 名) に経済的に恵まれない子供たちとして奨学金を出しています。

ネパールでの学校の評価は、難関である全国統一高等学校卒業試験 (SEE) にどれだけ生徒が良い成績を残せるかで決まります。グレードは A+から E まであり、ミランダルマスタリ学校は都会から離れているにも関わらず、2024 年も全員優秀な成績を残すことができました。今年はミランダルマスタリ学校が地域で一番優秀な成績を収めたということで村長から表彰もされました。

ミランダルマスタリ学校には現在 10 年生 (SEE) までしか勉強を出来ませんが、来年度は、ここで卒業した生徒は母校で 10+2 まで勉強を出来るようになりそうです。

4. ミラン図書室

学校校舎のすぐ隣に図書室があります。元里子のスミトラ・アディカリが図書室司書をしています。図書室には、保育園から大学まで幅広く利用できる専門書を含む図書が揃えられています。現在図書室には約 9,500 冊の様々な分野の本が用意してあります。

図書室は学校関係者だけでなく地域住民も利用できるようになっており以前に比べて年々利用者が増えています。生徒たちが勉強室としても利用できます。また放課後は近所の子供たちも自由に使える

ようになっています。パソコンも設置されていて自由に使えます。インターネットも繋がっています。2 階はコンピュータ一室、音楽室、会議室として利用されています。化学室もあり授業で使われます。

5. ミラン寄宿舍

校内には 3 階建のミラン寄宿舍があります。1 階は学習室 2 部屋、調理担当や学校管理人のための 2 部屋、2 階は寄宿、3 階は学生食堂になっています。1 階の一部の部屋を共有のスペースとして改造し、寄宿生たちが自由に使えるようにしていますが現在は寄宿生がいなくて空き室になっています。寄宿舍に 80 床があります。3 階の学生食堂は学校のイベント活動の時にも使えるようになっています。食堂は生徒たちと教員たちが使っています。寄宿舍にはインターネットやお湯の出るシャワーが完備されています。

しかし 2019 年のコロナ以降は寄宿生は年々減少傾向になり、運営には難しくなり、2024 年度から閉鎖になりました。なお、現在は 1 階と 2 階の部屋は教室用に改造して幼稚園のクラスとして利用しています。現在寄宿舍には、清掃作業員 1 名とガードマン一家で管理しています。

最後に、私たちミランクラブジャパンの活動は今後も継続します、どうぞ今後ともご支援とご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

今年も会員の皆様にとって良い年でありますように祈り致します。